



ハグロトンボ 夏の舞

八田康弘



ハグロトンボの生態

ハグロトンボ

ひらひら舞うように飛び、翅を開閉する様子が神に祈りを捧げる様に似ていることやお盆の時期に多く見られることから「神様トンボ」「仏様トンボ」と呼ばれています。縁起の良いトンボとされています。

出現 5月中旬～11月上旬

環境 平地から低山にかけての清流

オス 胴体金緑色 メス 胴体黒褐色

神戸北区を流れる有野川ツルヨシ繁る川辺で夏の暑い日差しの中でハグロトンボのオスが縄張り争いをしながら飛び交う姿を見かけます。
本流近くの木や竹が茂る中を流れる用水路にもたくさんのハグロトンボを見かけます。

有野川（神戸市北区）本流

川のよどみ周辺には切り株や水草がたまり、岸辺の草にハグロトンボがとまり、縄張り争いをしています。強い夏の日差しに照らされながら、広い川面をのびのびと飛び交っています。

オスはおとなしく並んで止まっているときもありますが、縄張り争いも結構激しいです。











































用水路

本流から少し離れたところに用水路があって、有野川からの水が流れ込んでいます。コンクリートに固められた水路ですが、岸辺は竹林などに囲まれ、陰があるせいか、ハグロトンボがたくさん翅を休めています。狭い空間なので行動も見やすく、繁殖行動や縄張り争いをよく見かけます。

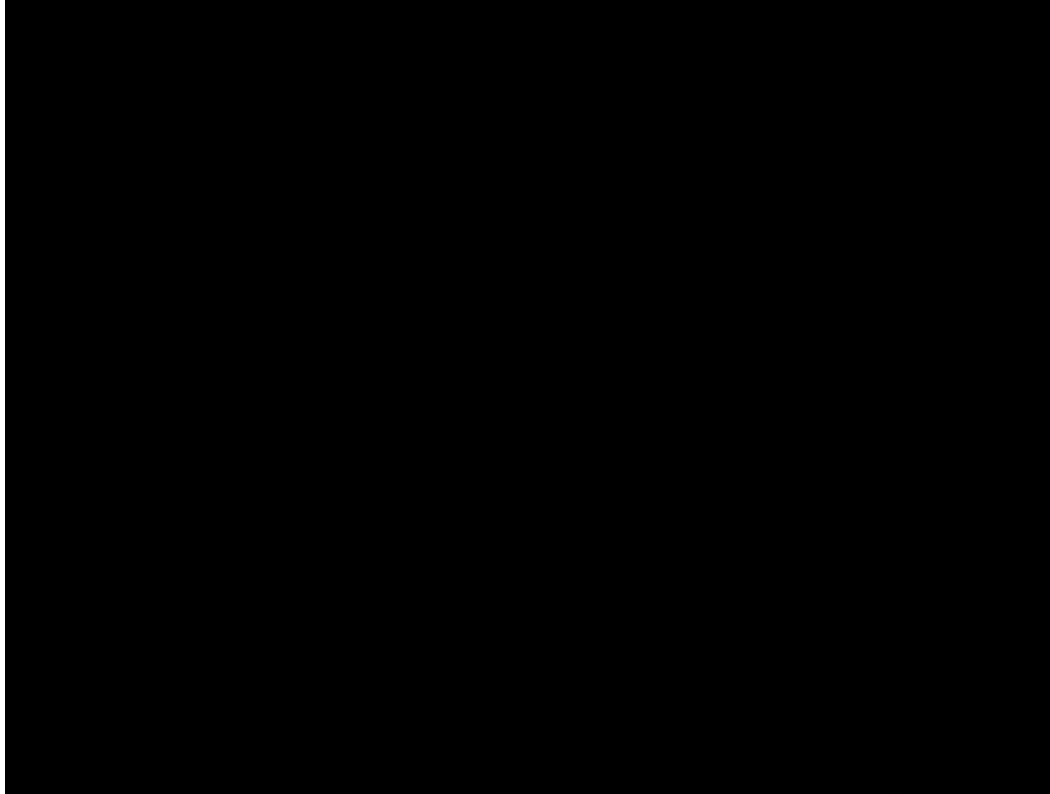
オスどうしの縄張り争いはかなり激しいです。

メスが水辺に浮かんでいる葉などに産卵する間オスがじっと見守っている姿も見かけます。





































ハグロトンボの生態

HATTA YASUHIRO